

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	十四軒町の家 の 理念 の 掲 示 場 所 が 少 ない。来園者に理念を伝える工夫をする。	“大切な人にこの場所を”という十四軒町の家 の 理念 を 地 域 の 方、来園者に発信する。会議録やお便りなどの書面への記載のみではなく、来園者がすぐに分かる場所に掲示する。	利用者に協力いただき理念を習字で書いていただく。作品を額縁に入れ、十四軒町の家 の グループホーム2階3階、小規模多機能ホーム、デイサービスの各玄関に掲示する。	1ヶ月 (実施済み)
2	23 (9)	時間の経過と共に変化する利用者、家族の思いに寄り添い、変わりゆく過程を記録する。	ケアプラン(1表)の利用者及び家族の生活に対する意向欄を要望や状態の変化に応じて更新していく。 ケアプラン更新時ではなくても見直しを行う。	利用者、家族の発言など日常生活のケアの中から、思いを汲み取り、記録する。収集した情報をモニタリングやフロアカンファレンスで確認しプランに反映する。	12ヶ月
3	24	入居したことでこれまでの暮らしを途切れないケアを実施する。	利用者、家族の希望に応じて思い出の地、仕事場、勤め先などに赴く。今までの人生や馴染んだ暮らし方を振り返る事が出来る援助や環境を支援する。	K氏一長男様が継いでいる紋かきの仕事場へ外出 I氏一長年勤められた料亭へ外出する 他利用者も継続検討	12ヶ月
4	10 (6)	利用者、家族の意見・要望を確認する機会として年1回のアンケートを実施している他に、“ご意見箱”を各フロアの玄関に設置しているが、活用が不十分である。	日常的に情報収集する方法の一つとして“ご意見箱”を活用できるようにする。	毎月送る家族へのお便りや広報誌にご意見箱を設置している事を記載し周知する。頂いたご意見は可能な範囲で、お便りや運営推進会議などで公表する。頂いたご意見に対しては改善策などの返答をしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。